

松江市の観光施策と観光交通についての実地調査研究

白 神 昌 也

0、はじめに

本稿は、松江市における観光施策および観光交通について、数回の実地調査および松江市観光白書に基づいて検討するものである。

鳥根県内における観光交通調査については、石見銀山遺跡が2007年7月2日にユネスコの世界文化遺産に登録された直後の秋季および翌年2008年の秋季に実施し、その後の追加調査として2010年の冬季にも実施したが、その際の調査目的は世界遺産登録による観光客の急激な増加に伴う観光交通施策の現状調査およびその後の実態調査であり、県庁所在地として多くの宿泊施設を有する松江市内の観光交通については資料収集に止まった。

その後の実地調査としては、2013年5月10日に行われた出雲大社の平成の大遷宮直後の夏季に実施した松江市から出雲市にかけての周辺観光地内における周遊交通についての現状調査を目的とするものであった。

2014年8月17日から18日にかけて鳥取・米子・境港・松江における地域交通の現状調査を実施した際、各観光地における地域および観光交通の現状を観察した結果、松江市の観光施策および観光交通の現状が、他の類似性のある観光地と比較検討可能であると考え、再調査することとした。

今回の調査は2015年5月9日および10日に実施した。現地においては提供されている観光交通サービスの利便性について、実際に各観光施設を周遊することで観光客の視点で考えるとともに、統計資料および現地における観光関連の情報に基づいて検討するものである。

1、松江市の観光客の推移と近年における観光施策について

(1) 松江市の観光客数の推移

松江市における近年の観光入り込み客数および宿泊客数は表1のとおりである。これ以前の観光入り込み客数については割愛するが、2004年度以前は800万人を下回っていたものの、阪神淡路大震災で急減した時期以外は順調に増加傾向にあった。

表からも分かるように順調な増加傾向は2009年まで続いたが、その後やや減少し、2013年度の出雲大社の平成の大遷宮において初めて1,000万人を上回った。2014年度については前年の反動により大幅な減少が予想されたが、高円宮家と千家家とのご成婚などにより5%強の減少に止まった。

宿泊者数については石見銀山の世界文化遺産登録翌年に初めて200万人を超えたが、翌年には一旦反動で減少したと考えられるが、その後は200万人以上となっている。上記の出雲大社の大遷宮翌年の減少幅も少ない。

表1 松江市における観光入り込み客数および宿泊客数（単位：万人）

| | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度 | 2009年度 |
| 入り込み客数 | 808 | 823 | 860 | 886 | 887 |
| 宿泊客数 | 186 | 186 | 196 | 211 | 192 |
| 年度 | 2010年度 | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 |
| 入り込み客数 | 877 | 839 | 843 | 1,013 | 960 |
| 宿泊客数 | 208 | 201 | 201 | 230 | 221 |

出所：松江市観光振興部観光文化課「松江市観光白書」より作成

(2) 松江市内における主な観光施設と入り込み客数

次に、松江市内における主な観光施設およびその入り込み客数について記述する。松江市内には多くの観光施設が松江城を中心に集中している。入り込み客数が上位となった観光施設は表2のとおりである。

表2 松江市内主要観光施設の入り込み客数（2012年度年間上位の観光施設）

| | | | | | | |
|--------|-----------------|--------------|------------------|-----------------|---------------|----------|
| 観光施設名 | 松江城 | 松江歴史館 | ぐるっと松江 レイクライン | ぐるっと松江 堀川めぐり | 松江堀川 地ビール館 | カラコロ工房 |
| 入り込み客数 | 276,758人 | 168,795人 | 123,822人 | 255,848人 | 132,109人 | 378,600人 |
| 観光施設名 | イングリッ シュガーデン | フォーゲル パーク | 玉造温泉 ゆーゆ | 八重垣神社 | 玉造温泉 | 宍道湖温泉 |
| 入り込み客数 | 191,057人 | 140,299人 | 218,642人 | 342,272人 | 586,268人 | 180,417人 |

出所：松江市観光振興部観光文化課「松江市観光白書」より作成

上記観光施設のうち、表の下半分のイングリッシュガーデンから玉造温泉は松江城周辺観光施設ではない。また、ぐるっと松江レイクラインは観光周遊バスであり、観光施設というよりも交通手段である。

最新の統計値（2014年4月15日集計）によると、2014年度の松江城は約38万人、堀川めぐりは約32万人、レイクラインは約15万人の入り込み客数となっており、出雲大社平成の大遷宮を考慮したとしても以前と比較して増加傾向がうかがえる。

また、松江城周辺には小泉八雲記念館や武家屋敷などの旧跡・史跡が集中しており、相当数の入り込み客数がある。

(3) 松江市における近年の観光施策

松江市における観光施策については、松江市総合計画として実施されてきた。これは2005年3月31日に市町村合併による新しい松江市の誕生により、その後の観光振興プログラム（2007年3月策定）を受けて2007年9月に策定されたものであり、その後2012年4月に松江市総合計画後期基本計画として引き継がれた。ここで設定された観光振興テーマは以下のとおりである。

①観光の振興

- I 観光資源の活用 II まちあるき観光の推進 III 産業と連携した観光の推進

IV 情報発信の充実

②滞在型観光の推進

I 滞在型観光の推進 II 広域連携による観光の推進

③国際観光の推進

I 外国人観光客の誘致

以上のテーマに従って様々な観光誘致宣伝がなされた。上記の内容についての詳細は省略するが、この中でまちあるき観光が促進されたことが、松江市の観光交通施策に大きな影響を与えているものと考えられる。

2、松江市における観光交通の現状

(1) 松江市へのアクセス交通の現状

松江市への公共交通によるアクセス手段は、鉄道輸送・航空輸送・高速バス輸送がある。高速道路の近年の整備により家用車によるアクセスについても利便性が向上した。

直接松江市内にアクセスするためには、鉄道輸送サービスが主流となっているが、地理的に在来線特急を利用せざるを得ないため、高速バスとの時間的差異は近畿圏ではほぼ存在しない。より遠方からアクセスする際には航空輸送の利便性が高くなるが、出雲空港から1時間程度のバス移動が必要となる。

近畿圏からも様々なアクセス手段があるが、例えば、大阪市内からのアクセス交通の現状については以下の表のとおりである。

表3 大阪市内からの松江市中心部へのアクセス交通の分類

| | 経路 | 所要時間 | 運賃 | 運行頻度 |
|--------|---------------------|---------|------------|-------|
| 鉄道輸送 | 新大阪⇒岡山⇒松江 | 約3時間40分 | 10,810円 | 1本/時間 |
| 航空輸送 | 梅田⇒伊丹空港 ⇒出雲空港⇒松江 | 約3時間 | 23,030円～ | 5本/日 |
| 高速バス輸送 | 梅田⇒松江 | 約4時間40分 | 5,250円(片道) | 8本/日 |

出所：各交通事業者発表により筆者作成（2015年10月15日現在の運賃・料金による）

* 鉄道輸送は新幹線のみおよび特急やくも利用、通常期指定席利用

* 航空輸送は空港アクセスバスの運賃を含む

* 高速バスについては夜行便の所要時間は約8時間である

(2) 松江市内における交通施策の現状

松江市内における交通施策は、公共交通サービスであるバス輸送施策と駐車場に関する道路施策、およびパークアンドライド施策の3種類が挙げられる。

①バス輸送施策

バス輸送については、観光交通サービスとして運行されているぐるっと松江レイクラインと松江市営バス北循環線とがある。松江市営バスは生活路線の役割を主に果たし、観光交通路線であるぐるっと松江レイクラインを補完する役割であると考えられるため、松江レイクラインについて記述する。

ぐるっと松江レイクラインは、JR 松江駅前発で市内中心部の主要観光施設を周回して再び

JR 松江駅へ戻ってくる観光周遊バスである。所要時間は1周48分で3月から11月は朝8時40分始発で20分ごとに運行される。このうち4月から9月は最終が18時15分で、その他の月は最終が17時55分である。12月から2月については最終が17時10分で運行頻度は30分ごとである。

表2の主要観光施設のうち、運行経路となっている観光施設および松江駅出発後の所要時間は以下の表のとおりである。

表4 ぐるっと松江レイクライン主要停車施設および前停車施設からの所要時間

| | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|---------|
| 松江駅（発） | 松江城（大手前） | 大手前遊覧船乗場 | 小泉八雲記念館 | 堀川遊覧船乗場 |
| 0分（松江駅から） | 10分（10分） | 3分（13分） | 3分（16分） | 1分（17分） |
| 月照寺前 | 松江しんじ湖温泉駅 | カラコロ工房前 | 宍道湖遊覧船乗場 | 松江駅（着） |
| 4分（21分） | 4分（25分） | 7分（32分） | 14分（46分） | 2分（48分） |

出所：松江市交通局発行「ぐるっと松江レイクライン Guide Map」より作成

運賃については、1回乗車が大人200円小人100円、1日乗車券が大人500円小人250円、2日乗車券が大人1,000円小人500円である。

ぐるっと松江レイクラインは、所要時間や運行頻度、運賃および市内主要観光施設間を周遊していることから、観光客にとっての利便性は以上に高いものであると考えられる。実際、積み残しや混雑による遅れ等も日中に限り生じてはならず、乗務員の対応についても丁寧で適切なものであった。

② 駐車場施策

松江市内中心部における観光客が利用可能な駐車場としては、松江市営の大手前駐車場と城山西駐車場とがある。

大手前駐車場は松江城に隣接しており、周辺観光施設へのまちあるきの基点でもある。収容台数は66台で8時から19時までは60分300円、2時間未満500円、3時間未満600円、4時間未満700円、4時間以上800円で以降30分毎に100円となる。

城山西駐車場は堀川遊覧船乗場に隣接しており、パークアンドライドの基点の1つでもある。収容台数は136台で、8時から17時30分までは大手前駐車場と同じ料金体系である。

これ以外にも松江市ではおもてなし駐車場制度があり、県庁や市役所などの駐車場を原則土日・祝日に無料開放している。利用時間は施設によるが、合計500台以上の駐車が可能である。

③ パークアンドライド施策

前述したとおり、松江市の観光施策の1つとしてまちあるきを推進していることから、指定駐車場においてパークアンドライド促進のための施策が実施されている。城山西駐車場またはくにびき駐車場に自家用車を駐車し、レイクラインチケットを1,000円以上購入することで駐車料金が3時間まで無料となる施策である。

パークアンドライド施策による公共交通の利用促進は様々な地域・観光地で実施されているが、指定駐車場以外の近隣複数の駐車場を含めてさまざまな観光施設へ行けることは観光客の利便性に大いに寄与することになる。

(3) 交通施策に関する今後の課題

松江市内中心部における交通施策は現状では十分であると考えられる。ぐるっと松江レイクラインの運行については現状で観光客にとって利用しやすいものであり、駐車場施策についても問題ないと考えられる。

ただ、近年の駐車場利用台数を見てみると、大手前駐車場および城山西駐車場の利用台数が減少傾向にあることおよびおもてなし駐車場の設置が、駐車場の過大供給の可能性を示唆している可能性がある。観光需要の増加傾向を考えると、将来の駐車場需要に対する先んじた対策であるとも考えられるが、駐車場収入が十分に確保できていない可能性も否定できない。

観光客への駐車場の利用促進は自家用車の入り込み数を増加させることになり、道路混雑という交通問題を引き起こすこともあるが、現状においては自家用車利用の観光客誘致のさらなる増加による観光収益増加が地域のさらなる発展となると考えられる。

3、他の観光地との比較可能性

松江市における観光交通施策は、類似性の高い観光地で実施可能である。松江市の観光地の特徴として、以下の点が挙げられる。

- ・観光の中心となる有名観光地があり、その周辺に徒歩圏内に多くの観光施設が集中する。
- ・観光地内での高低差が大きい。
- ・観光客の月別変動はあるが、月当たりの入り込み客数が相当数確保されている。
- ・自家用車でアクセスする観光客に対して十分な駐車場が確保可能である。
- ・観光需要に見合う観光周遊公共交通サービスの提供が可能である。

上記の特徴にすべて合致しないとしても、いくつかの特徴が共通する観光地は全国に存在する。また、同様な観光交通施策をしている観光地において何らかの交通問題が生じている際には改善の糸口となることも考えられる。

今後の方向性としては、他の観光地における観光交通の現状を調査し、観光地における特性を考慮しながら共通の事象を抽出して一般化し、今後の施策につなげるにはどのような対応を取るべきかを検討していくことである。

参考文献

- ・白神昌也 [2010] 「観光地における周遊交通についての概観と公共交通を利用した取り組み」
- ・白神昌也 [2013] 「観光地におけるバス輸送の役割に関する調査研究へ向けて」

参考資料

- ・一般財団法人運輸政策研究機構 [2014] 「平成 25 年度版地域交通年報」
- ・一般財団法人運輸政策研究機構 [2014] 「数字でみる鉄道 2014」
- ・松江市観光振興部観光文化課 [2013] 「平成 24 年度松江市観光白書：本編」
- ・松江市観光振興部観光文化課 [2014] 「平成 25 年度松江市観光白書：本編」
- ・松江市観光振興部観光文化課 [2015] 「平成 26 年度松江市観光白書：速報値」
- ・島根県商工労働部観光振興課 [2015] 「平成 25 年度島根県観光動態調査結果」
- ・松江市交通局発行 [2015] 「ぐるっと松江レイクライン Guide Map」
- ・松江市交通局発行 [2015] 「松江市営バス北循環線時刻表」